

そうじゃ学び続ける子ども育成プラン

総社市教育委員会



今の時代は、グローバル化の進展や AI をはじめとする技術革新が急速に進み、社会が絶えず変化し続ける先行き不透明で将来の予測が困難な時代と言われています。そのような中で、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報をしっかり見極め、学んだ知識を土台に自ら課題を見だし、情報や考え方を多面的に比較しながら、よりよい答えを探すことや新たな価値につなげていくことが求められています。

総社市では、平成 27 年 4 月にそうじゃ教育大綱として、『「総社を愛する子供」「心優しい子供」「礼儀正しい子供」』を掲げ、令和 5 年 3 月策定の第 3 次総社市教育振興基本計画でこの大綱の具現化に取り組んでいます。その基本方針のひとつとして掲げる「学ぶ力と創造性を育てる」において、知識・技能の確実な習得と、それらを活用して特に「思考する力・判断する力・表現する力」の育成に力点を置いた授業実践による確かな学力の向上をめざしております。

令和 7 年度の全国及び県学力・学習状況調査の結果をもとに現状の課題を分析し、次のような取組を実施しています。

1 現状

令和 7 年度岡山県学力・学習状況調査では、小学校 3～5 年生は全ての教科で県平均を大きく上回っており、中学校 1 年生では全ての教科で県平均を上回っています。中学校 2 年生では数学と英語で県平均を下回っており、特に、数学の知識・理解や英語のリスニングで課題が見られました。

令和 7 年度全国学力・学習状況調査では、小学校 6 年生の国語、理科、中学校 3 年生では国語が全国平均を上回っており、小学校 6 年生の算数、中学校 3 年生の数学、理科は全国平均を下回っています。

近年の学力調査に表れる傾向として、小学校の 3～5 年生までは県平均を上回っていますが、学年が上がるにつれて、全国や県平均と同等あるいは教科によっては下回る傾向があります。一方、学習状況調査では、授業での発表の工夫に関する項目で、ほとんどの学年で全国や県平均を下回っており、自分の考えをまとめ、表現する力を身につけさせる取組が課題となっています。また、家庭学習時間については、小学校 5・6 年生では 1 時間以上取り組む児童の割合は全国や県の平均と比較して高くなっていますが、中学校では、低くなる傾向があり、中学校での家庭学習時間の減少が課題になっています。県調査における小学校 5 年生、中学校 1・2 年生のゲームや SNS に費やす時間は、学年が上がるにつれて増える傾向が見られます。

そこで、総社市では、主体的に学び続ける子どもの育成をめざして、「授業改善」「家庭学習の充実」に重点を置き、児童生徒が目標をもち、「もっと知りたい。」「もっとできるようになりたい。」と思えるような授業展開を行い、また、家庭学習では基礎基本の定着だけではなく、主体的に予習をしたり、授業で習った内容を発展的に調べたりするような取組を行っていきます。

<調査概要>

校種	学年	調査種類	実施調査
小学校	3 年生	岡山県	国語、算数
	4 年生		国語、算数
	5 年生		国語、算数、学習状況調査
	6 年生	全国	国語、算数、理科、学習状況調査
中学校	1 年生	岡山県	国語、数学、英語、学習状況調査
	2 年生		国語、数学、英語、学習状況調査
	3 年生	全国	国語、数学、理科(CBT※1)、学習状況調査

※小学校 6 年は義務教育学校前期課程 6 年を、中学校 1～3 年は義務教育学校後期課程 7～9 年を含む（以下同様）

※1：CBT とは、Computer-based-Testing の略で、コンピュータを使用して行う調査

2 取組

(1) 主体的・対話的に学びに向かう授業づくり

① 基礎学力の定着

- ・各教科の基礎・基本の定着に取り組みます。
- ・一人一台端末のデジタルドリル等を活用して、自分の苦手な問題に取り組みます。
- ・算数・数学科において、児童生徒が知識・技能を確実に習得するために、系統性を意識した学年をまたいだ学び直しの取組を推進します。
- ・英語科において、チャンツや歌などの活用により、音声に触れる活動を継続的に行います。また、日常的な話題に関する言語活動を繰り返し行うことで、表現力の確実な定着を図ります。

【令和7年度全国学力調査】

	小学6年生			中学3年生		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
総社市	67.2	57.7	58.5	55.7	47.1	50.2
岡山県	67	56	57	55	48	50.4
全国	66.8	58.0	57.1	54.3	48.3	50.3

(国語、算数・数学、小学校理科の数値は平均正答率(%)※2)

(中学校理科はIRTスコア※3)

※2：平均正答率とは、調査に参加した児童生徒一人ひとりの正答率(全設問のうち正答した設問の割合)を、集団(全国、県、市)ごとの平均を表したものを、

※3：IRTスコア(Item Response Theory:項目応答理論)とは、児童生徒の正答・誤答が、問題の特性(難易度、測定精度)によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論を用いて、500を基準にした得点で表したものを、

※全国学力調査における岡山県の結果については、整数のみの公表としているため、整数で表示している。総社市の結果については、市で集計を行い、小数第一位で表示している。

【令和7年度岡山県学力調査】

	小学3年生		小学4年生		小学5年生	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数
総社市	73.1	80.5	73.6	76.1	68.3	68.3
岡山県	69.6	75.3	68.4	71.9	65.1	64.5

	中学1年生			中学2年生		
	国語	数学	英語	国語	数学	英語
総社市	65.3	70.3	81.8	65.1	53.2	48.4
岡山県	64.3	67.1	80.5	63.7	53.7	49.9

② 児童生徒が自ら課題をもち、主体的に学習に取り組む授業づくり

- ・全ての教科において、授業の中で自らの成長や変化を実感できる「めあて」を示し、「振り返り」を確実にやり、目標と意欲をもって学ぶことができる授業づくりの実践を行います。
- ・既習内容や日常体験などに関連づけたり、教科書や資料等から根拠や理由を見つけたりし、自分の考えをもつことを大切に授業づくりの実践を行います。
- ・全体や協同学習(グループでの話し合い)では、何のために話し合っているのか分からない状況にならないように、活動のねらいを明確にして、他の児童生徒の発言をよく聞き、真剣に考え、自らの考えを表現したり、共感したりする授業づくりの実践を行います。

【令和7年度全国及び県学習状況調査】

○課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか

	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生
総社市	80.7	80.2	79.4	75.1	77.5
県	75.1	77.8	76.3	74.6	76.7
全国		80.3			77.7

○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生
総社市	84.3	84.7	88.4	86.3	83.2
県	83.7	84.3	82.2	83.9	84.4
全国		84.9			84.7

③ 効果的な ICT 活用

- ・児童生徒が一人一台端末を活用する機会を一層増やし、課題に応じて効果的に活用することができるようにします。また、「共有」や「振り返り」の場面で活用し、自分の意見を表現したり、他者の意見に共感したりしながら、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにします。

【令和7年度全国及び県学習状況調査】

OPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか ※毎日と回答した児童生徒の割合

	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生
総社市	29.8	63.8	43.2	41.7	68.5
県	30.0	57.1	39.6	32.7	57.4
全国		46.7			53.2

(2) 学校と家庭との協働体制づくり

① 基本的な生活習慣の確立

- ・各中学校区で作成している生活習慣系統表を活用し、家庭と連携しながら望ましい家庭学習時間やメディア利用時間の設定など家庭でのルールづくりを行うとともに、「早寝・早起き・朝ごはん」等の基本的な生活習慣の確立を行います。

② 家庭学習の充実

- ・一人一台端末を持ち帰り、家庭でもデジタルドリルやタイピング練習、調べ学習などの有効活用が図られるようにしていきます。
- ・学校の授業と家庭学習の接続を意識し、授業で学んだことや疑問に思ったことから自ら課題を設定し、主体的に取り組むことができる家庭学習を推進します。

【令和7年度全国及び県学習状況調査】

○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
※1時間以上と回答した児童生徒の割合

	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生
総社市	61.8	66.4	59.0	45.2	47.3
県	53.0	58.1	53.1	49.3	54.5
全国		54.0			61.6

○朝食を毎日食べていますか

	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生
総社市	94.1	91.2	92.7	90.5	93.8
県	93.3	93.3	91.8	90.2	91.3
全国		93.7			91.2

総社市では、「授業改善」「家庭学習の充実」の取組を行い、主体的に学び続ける子どもの育成を推進していきたいと考えています。

そして、確かな学力を身につけることで、社会の変化に主体的に向き合って関わり合い、自らの可能性を追求し、他者と協働しながら、幸福な人生を切り拓くとともに、未来の創り手となるよう育てていきます。

子どもの成長に関わる学校、家庭、地域がともに力を合わせて、子どもたちを健やかに育てていきたいと考えています。皆様のご理解ご協力をお願いします。

